

生誕 130 年 矢野橋村展 ~御殿山の人々と橋村~

戦前、御殿山に大阪美術学校を設立した南画家・矢野橋村（1890-1965）。
2020 年は橋村の生誕 130 年の節目にあたることを記念して、橋村の画業を振り返る展覧会を開催します。

御殿山には橋村が地域の人々に自分の絵を譲渡したという話が伝わっています。今回所蔵者の協力を得て、各家庭に飾られている橋村の作品を展示する運びとなりました。作品は御殿山の人々と歳月をともにしてきたことであることから、所蔵者の「作品への思い」も併せて展示します。また、個人の方から寄贈された大阪美術学校当時の貴重な写真等も展示します。

橋村は渚院と並ぶ御殿山の文化的・地域的記憶遺産です。橋村の絵がどのようにして所蔵者の方々の日々の暮らしとともにあったのか、橋村は御殿山の人々にとってどのような存在であるのか、各家庭で代々受け継がれている橋村の記憶を地域の人々に共有していただき、御殿山の人々の心のうちにある橋村像が浮かび上がる場となることを願っています。

是非これまで紹介されることの少なかった作品の数々をお楽しみください。

枚方市立御殿山生涯学習美術センター



矢野橋村（やのきょうそん）

1890(明治23)年、愛媛県越智郡波止浜(はしま)町(現在の今治市)に生まれる。17歳の時に大阪に出て陸軍造兵廠で働くも、勤務中、左手首切断の事故に遭遇。南画家・永松春洋の門下に入り画家を目指す。1913(大正2)年第7回文展で初入選し、以後三年連続で入選した。1921(大正10)年に日本南画院の創設に関わり、翌年同人、評議員になる。1924(大正13)年、大阪の天王寺に大阪美術学校を設立する。1929(昭和4)年に御殿山に移転し、1944(昭和19)年、同校は陸軍に接收され、閉校となった。戦後は日展評議員や日本南画院副会長などを歴任した。



第2期展示予定
《秋山幽居図》 個人蔵



第1期展示予定《松下彈琴》 個人蔵



第2期展示予定 作品名不明 御殿山神社蔵



〒573-11
枚方市御殿山町 10-16 TEL : 050-7102-3135
FAX : 072-847-8351



<http://www.hira-manatsuna.jp/gotenyama/>
mail : info-gotenyama@hira-manatsuna.jp